

平成 29 年度 租税教育活動プレゼンテーション一覧

* 局連順

<最優秀賞>

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
福 岡	○直方（福岡） ○小学 3～6 年生 中学 1～3 年生 高校 2 年生 ○小学生 412 名 中学生 327 名 高校生 229 名	【税に込められた想いを伝える租税教育活動】 10 年に渡る活動の末辿り着いた、本当に伝えたい事は税の本質は「思いやりの心」であること。 「税金は誰かを大切に想う気持ち」を合言葉に、税に込められた想いを伝える一連の租税教育活動を展開。 ・イベントでは、自作自演の劇や自衛隊等の見学で、税の大切さを伝えた。 ・小中学向け租税教室は、講師毎に異なる内容で、高校生には、恩恵を受ける側から支える側となり、税を活躍させるため、選挙権の行使が必要であることを伝えた。

<優 秀 賞>

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
東 京	○品川（東京） ○小学生全般 ○90 名	【Kids Work Tax】 国民の三大義務「教育・勤労・納税」を踏まえ、子供達に税の必要性の理解を深めてもらい、納税とはどのような行為なのかを実社会を舞台に学んでもらう内容。 ・教育：租税教育用映像を使用し、税金とは何かを理解。 ・勤労：収穫した農作物に付加価値を加え、品川宿場まつりでの販売を体験。 ・納税：子供達が公的に役立つ使い道を選定したうえで、収益金を区役所に寄付する形式で納税を体験。
熊 本	○宮崎（宮崎） ○小中学生、高校生 ○8 クラス 840 名	【年代に応じた租税教育活動～take action～】 イベント型租税教育と学校における租税教室の 2 本の柱で構成。 ・イベント型では、税に関する作品コンクールの募集・表彰式や各種イベントでの「租税クイズコーナー」を実施。 ・租税教室では「年代に応じた租税教育活動」を展開。 小学生には「まちづくりワーク」中学生には「意見交換会」高校生には「人生ゲーム」を実施。

<奨励賞>

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
東 京	○横浜中（神奈川） ○小学生 ○40 ブース 100 名	<p>【税を知る 横浜子どもフリーマーケット】</p> <p>小学生に適正な税の仕組みを健全に学んでもらうための「税を知る 横浜子どもフリーマーケット」事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市中区・西区の小学生が、それぞれの売上から 8%を「こどもフリーマーケット税」として納税し、その使い道を協議し決定する。 ・納税の仕組みや税の大切さだけでなく、税金の使い道が決定されるプロセスや税金のゆくえにまで関心を持ってもらうことを重視。
関東 信越	○真岡（栃木） ○小学 6 年生 ○4 クラス 151 名	<p>【租税教室】</p> <p>法人会青年部会独自の事業をやろうという部会員の声を発端に、税知識の普及と納税意識の高揚を目的として、将来の納税者を対象に租税教室を地道に行うことを決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容は立川法人会青年部会の立川方式を採用。 ・できるだけ一方通行にならずに、児童に参加してもらうため、クイズ形式のスタイルで進行。
札 幌	○深川・留萌・ 富良野地方（北海道） ○小・中・高校生 及び保護者 ○114 名	<p>【小規模単位会の挑戦 ～小さくたって出来るんだ！～親子税金クイズ（市長は君だ！）】</p> <p>少人数・低コストでもイベント会場等で手軽にできる租税教育活動として税金クイズを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もし自分が市長なら税金をどのように予算付けしたいか」をテーマにアンケートを実施し、その結果をホームページやフェイスブックで公開。 ・参加者には地元の特産品を贈呈。
仙 台	○横手（秋田） ○小学校 5・6 年生 ○9 チーム 45 名	<p>【ジュニアエコノミーカレッジ in よこてへの協力と租税教室】</p> <p>小学生が 1 チーム 5 名で会社をつくり、セミナーや販売実践を通じて、自分たちで考え行動する「自分力」を高める企業家育成プログラム。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーでは、自分たちで何を作り何を売るかを決め、その後、販売実践を行う。 ・まとめセミナーでは、決算書を作成し、税金・配当・報酬等を決定。消費税の納税の仕組みについても学んでもらう内容。

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
名古屋	○三島田方(静岡) ○高校2年生 ○2クラス30名	<p>【高校生向けキャリア教育・商品開発プロジェクト】</p> <p>新卒者の離職率を改善するための「キャリア教育」と新しい地元のお土産品を作り上げる「商品開発プロジェクト」を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア教育」では一般的な高卒採用者の給与明細を教材に、税金や社会保障費の意味や現実的な可処分所得を理解してもらう。 ・「商品開発プロジェクト」では高校生が発案した商品を青年部会がサポートしながら商品化を実現。
金 沢	○砺波(富山) ○小学6年生 ○小学校6校 14クラス408名	<p>【青年部・女性部が一体となって取り組む租税教室】</p> <p>小規模単位会のため、従来からの課題であった講師の確保と講師レベルの水準向上という2つの課題を、女性部会と一体となって取り組むことで解消。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性部会と合同で新たに作成した租税教室の標準モデルを活用した演習により講師レベルを向上。 ・参加児童全員から感想文を提出してもらい、理解度を確認。
広 島	○石見大田(島根) ○小学6年生 ○小学校7校171名	<p>【オリジナル租税教育素材「PowerPoint 及びアニメーション」を活用した租税教室】</p> <p>小学校教諭による監修のもとオリジナルの租税教育プログラムを策定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師が一方向的に話すスタイルではなく、身近にあるものを使用してのクイズやグループワークを交え、生徒に税について考えてもらう内容。 ・アニメーション「税から見る石見銀山」では、地域愛を醸成してもらうため、「石見銀山」が栄えた時代にどのような租税が行われていたかを盛り込んだ。
高 松	○大川(香川) ○小学6年生中心 ○400名	<p>【住みたいさぬき・センタックス (わが町版 税金がある町・無い町)】</p> <p>子供たちに自分達の生まれ育った町に住み続けたいと思ってもらうこと及び税が自分達の町の発展に密接につながっていることを実感してもらうことを目的に租税教育を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「税金のある町・無い町」のイラストを実写版に編集し、税金がある場合とない場合を見比べてもらい、税の大切さを実感してもらう内容。